

おいしい瞬間を届けたい



# 2026年3月期 第3四半期決算説明会資料

2026年2月3日  
株式会社ニチレイ

## （1）第3四半期の総括

- ・第2四半期に修正した通期計画に沿って概ね進捗
- ・売上高は、加工食品事業と低温物流事業が伸長したが、水産・畜産事業の構造改革により前期並み
- ・営業利益は、累計では12億円の減益だったが、第3四半期単独で増益へ転換

## （2）通期計画

- ・第2四半期で修正した計画を据え置き
- ・売上高は前期並みの7,000億円、営業利益は前期比12億円増益の395億円、当期純利益は第2四半期に投資有価証券を売却したことなどにより前期比33億円増益、過去最高の280億円を見込む

- 2026年3月期 第3四半期実績 (P.3~11)
- 2026年3月期 通期計画 (P.12~14)
- その他 (P.15~18)
- Appendix (P.19~35)

注：当資料のグラフ・表などで表示されている数値は、別途断り書きがある場合を除き、金額単位表示未満は四捨五入し、一部で端数調整のため切り上げ・切り捨てを行っている。

# 1 第3四半期実績

## ● 営業利益は、第3四半期単独では加工食品事業の減益幅が縮小し増益へ転換

	第3四半期			第3四半期累計			
	実績	前期比		営業 利益率	実績	前期比	
		増減	率			増減	率
食品	1,145	△28	△2%	78%	3,213	△116	△3%
	865	54	7%		2,513	149	6%
	172	△26	△13%		384	△80	△17%
	135	△38	△22%		385	△143	△27%
	△26	△18	—		△69	△42	—
	781	59	8%		2,253	158	8%
	13	△2	△12%		37	△1	△3%
	17	△7	△28%		40	△11	△22%
	△56	1	—		△166	△1	—
	1,900	23	1%		5,377	28	1%
(海外売上高合計)	448	24	6%	77%	1,281	49	4%
	59	△5	△8%		149	△33	△18%
	48	△2	△4%		131	△30	△19%
	8	△3	△27%		13	2	15%
	3	△0	△12%		6	△4	△41%
	△0	△0	—		△1	△0	—
	60	11	22%		153	28	23%
	5	△0	△5%		14	0	2%
	3	△4	△60%		3	△8	△69%
	△4	1	—		△14	△1	—
営業利益合計	122	2	1%	6.4%	305	△12	△4%
経常利益	126	1	1%	78%	314	△17	△5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	77	0	0%		219	13	6%
							78%

(単位: 億円)

### 【売上高】

主力の加工食品事業と低温物流事業が伸長したが、水産・畜産事業での構造改革の継続により、グループ全体では**前期並み**

### 【営業利益】

低温物流事業や水産事業は増益となったが、加工食品事業の減益が響き**12億円減益**

為替レート	26/3 3Q	25/3 3Q
米ドル/円	148.23	151.28
ユーロ/円	165.54	164.39
バーツ/円	4.48	4.24

(注) 1月～9月までの期中平均で算出

減価償却方法の 変更等に伴う影響額	26/3 3Q
食品事業	10
低温物流事業	17
その他	1
合計	28

# 加工食品事業 | 売上高・営業利益

おいしい瞬間を届けたい



- 価格改定効果は得られるも、先行して増加した原材料・仕入コストなどを吸収しきれず30億円減益

(単位: 億円)

加工食品	第3四半期			第3四半期累計				
	実績	前期比		営業利益率	実績	前期比		営業利益率
		増減	率			増減	率	
売上高合計	865	54	7%		2,513	149	6%	75%
	681	37	6%		1,964	112	6%	76%
	家庭用調理品	253	7	3%	730	29	4%	74%
	業務用調理品	331	32	11%	923	87	10%	76%
	農産加工品	58	△5	△8%	169	△22	△12%	74%
	その他	38	3	9%	142	18	15%	83%
	海外	268	13	5%	806	32	4%	76%
	調整額	△84	3	—	△257	6	—	—
	営業利益合計	48	△2	△4%	5.6%	131	△30	△19%
	国内	38	2	4%	5.6%	87	△25	△22%
増収効果の内訳	海外	10	△2	△18%	3.7%	43	△9	△17%
	調整額	0	△1	—	—	1	4	—
	第3四半期	第3四半期累計						
	増収率	単価	数量	増収率	単価	数量		
家庭用調理品	3%	5%	△2%	4%	4%	0%		
業務用調理品	11%	2%	9%	10%	2%	8%		

## 【国内】

### 《売上高》

#### (家庭用調理品)

- ・米飯類やチキン加工品の価格改定の浸透などにより**4%増収**

#### (業務用調理品)

- ・チキン加工品や米飯類の数量伸長により**10%増収**

#### (農産加工品)

- ・価格改定後の販売数量回復の遅れなどにより**12%減収**

### 《営業利益》

- ・価格改定は浸透したものの、原材料・仕入コストの上昇や販売促進費の増加の影響を吸収しきれず**25億円減益**

## 【海外】

### 《売上高》

- ・北米のアジアンフーズ事業は前期並みで推移
- ・昨年1月に北米の水産・畜産事業を統合した北米販売子会社が増収に寄与

### 《営業利益》

- ・タイの輸出事業における為替影響（ドル安バーツ高）などにより**9億円減益**

# 加工食品事業 | 営業利益の増減要因

おいしい瞬間を届けたい



(単位: 億円)

	26/3			
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第3四半期 累計
前期 営業利益	58	52	50	161
<b>増益要因</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>27</b>	<b>60</b>
増収効果 (※1)	2	3	3	8
価格改定効果	7	14	19	40
生産性改善	1	0	1	2
償却方法の変更	3	3	4	10
<b>減益要因</b>	<b>△28</b>	<b>△34</b>	<b>△29</b>	<b>△91</b>
為替影響による原材料 ・仕入コストの増減	△11	△9	△6	△26
原材料・仕入コストの増減 (為替影響除く)	△12	△16	△18	△46
物流コストの増減	△1	△1	0	△2
動力燃料コストの増減	△1	0	0	△1
海外関係会社の業績影響額 (※2)	△1	△6	△2	△9
減価償却費の増減	△1	△1	△2	△4
その他 (※2) (※3)	△1	△1	△1	△3
<b>当期 営業利益</b>	<b>43</b>	<b>39</b>	<b>48</b>	<b>131</b>

(※1) 収益性重視の施策の実行による利益効果も含む

(※2) 表示区分の変更: 「海外関係会社の業績影響額」に含めていた「棚卸未実現  
利益の調整」を「その他」に反映。それに伴い第1四半期の数値を遡及修正

(※3) 棚卸未実現利益の調整を含む

## 主な内容

### ● 増収効果 3億円

《プラス要因》

- 大手ユーザー向けのチキン加工品や外食向けの米飯類の販売伸長

《マイナス要因》

- スナック類や農産加工品の販売数量の減少

### ● 価格改定効果 19億円

- 2025年2月および7月～10月実施の価格改定の浸透

### ● 原材料・仕入コストの増減 (為替影響除く) △18億円

- 主に米・卵・鶏肉類の調達価格の高騰

### ● 海外関係会社の業績影響額 △2億円

《プラス要因》

- 北米事業における販売促進費の抑制

《マイナス要因》

- タイの輸出事業における為替影響 (ドル安バーツ高)

## 海外事業の業績

### 海外売上高

		2026年3月期					
		第3四半期		第3四半期累計		実績	
		実績	増減	率	実績	増減	率
売上高	北米	112	22	24%	314	34	12%
	GFPTニチレイ	57	△8	△12%	191	4	2%
	その他	14	2	15%	43	△3	△7%
	合計	184	15	9%	548	35	7%

※北米にはイノバジアン・クイジーン社＆ニチレイサクラメントフーズ社（イノバジアン社＆NISA）の他、北米で展開する全ての食品事業の数字を含める

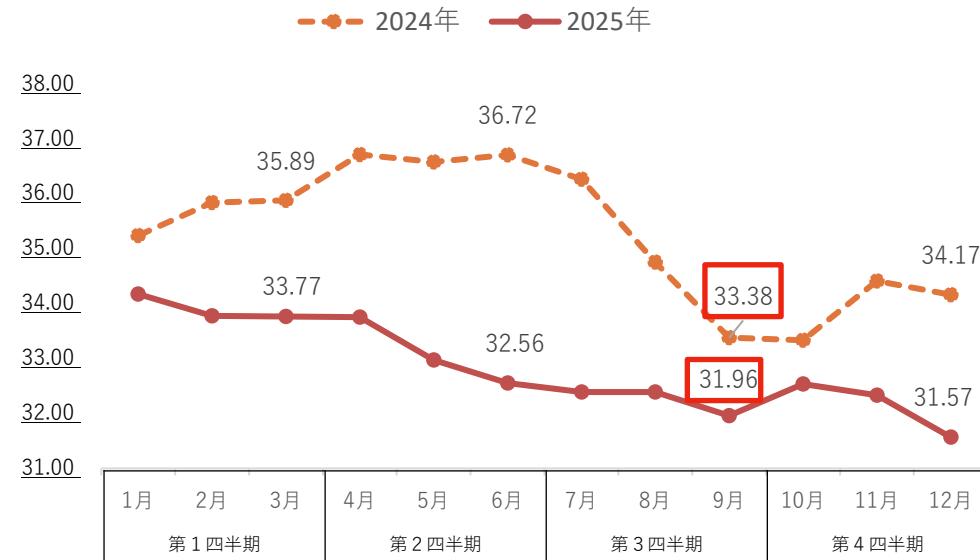
※本表の数字は地域間消去後の数字となり「エリア・セグメント別売上高・営業利益」で開示する数字と異なる

### 【イノバジアン社+NISA】 売上高・営業利益

		2026年3月期					
		第3四半期		第3四半期累計		実績	
		実績	増減	率	実績	増減	率
売上高	連結通貨（億円）	94	3	4%	284	5	2%
	現地通貨（百万USD）	63	3	5%	191	7	4%
営業利益	連結通貨（億円）	5	2	62%	10	△1	△10%
	現地通貨（百万USD）	3.3	1.3	63%	6.7	△0.6	△8%
営業利益率（連結通貨）		5.1%			3.5%		
為替レート（米ドル／円）					148.23		

※本表の数字は地域間消去後の数字となり「エリア・セグメント別売上高／国内外別営業利益」で開示する数字と異なる

## ドルバーツの推移



※月中平均レートで算出

- 水産・畜産とともに、事業構造改革が計画通りに進捗

(単位: 億円)

		第3四半期			第3四半期累計				
		実績	前期比		営業 利益率	実績	前期比		営業 利益率
			増減	率			増減	率	
水産	売上高	172	△26	△13%		384	△80	△17%	96%
	営業利益	8	△3	△27%	4.6%	13	2	15%	131%
畜産	売上高	135	△38	△22%		385	△143	△27%	84%
	営業利益	3	△0	△12%	2.0%	6	△4	△41%	111%

## 【水産】

### 《売上高》

- 低収益商材の削減を計画的に進めたことにより **17%減収**

### 《営業利益》

- 前期に収益性が低迷した魚卵の回復に加え、高収益商材や主力のエビ商品が好調に推移したことにより **2億円増益**

## 【畜産】

### 《売上高》

- 国産、輸入冷凍品の低収益商材の削減により **27%減収**

### 《営業利益》

- 大幅な販売数量削減により、固定費を回収できず **4億円減益** (食品事業統合後に収益改善予定)

- 国内事業が引き続き堅調に推移し、売上高は8%増収、営業利益は28億円増益

(単位: 億円)

低温物流		第3四半期			第3四半期累計			
		実績	前期比		実績	前期比		営業利益率
			増減	率		増減	率	
	売上高合計	781	59	8%	2,253	158	8%	75%
国内事業	国内事業	521	21	4%	1,519	67	5%	76%
	保管	186	6	4%	539	20	4%	76%
	輸配送	93	2	2%	278	7	3%	76%
	リテール	170	10	6%	493	30	7%	75%
	3PL	73	3	4%	210	10	5%	75%
	海外事業	245	28	13%	678	58	9%	75%
	その他・共通	15	10	204%	56	32	135%	69%
	営業利益合計	60	11	22%	153	28	23%	77% 6.8%
海外事業	国内事業	57	8	17%	10.9%	146	28	23% 84% 9.6%
	海外事業	10	3	37%	3.9%	25	2	7% 60% 3.6%
	その他・共通	△6	0	—	—	△18	△1	—

## 【国内】

### 《売上高》

- 大都市圏を中心に保管・輸配送需要を着実に取り込んだことや、リテール事業が堅調に推移したことで**5%増収**

### 《営業利益》

- リテール事業や保管事業が堅調に推移したことや、減価償却方法の変更等も寄与し、**28億円増益**

## 【海外】

### 《売上高》

- 前期に実施した英国フォワーディング会社の買収効果に加え、同国内の既存会社との連携により通関・保管需要を着実に取り込んじて**9%増収**

### 《営業利益》

- ポーランドの新設倉庫の稼働遅れの影響はあったが、英国での事業が堅調に推移したことに加え、CSRD対応への費用の減少により**2億円増益**

# 低温物流事業|営業利益の増減要因

おいしい瞬間を届けたい



	(単位: 億円)			
	26/3			
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第3四半期 累計
前期 営業利益	34	41	49	124
<b>増益要因</b>	<b>10</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	<b>34</b>
集荷増による業績影響額	1	2	1	4
業務効率化	0	1	1	2
適正料金収受などの施策効果	3	3	2	8
海外	△0	△1	3	2
償却方法等の変更	6	5	6	17
その他	0	2	△1	1
<b>減益要因</b>	<b>△3</b>	<b>△1</b>	<b>△1</b>	<b>△5</b>
エネルギーコストの増減	△1	0	1	0
外部委託コスト増 (庸車・倉庫内作業含む)	△2	△1	△2	△5
<b>当期 営業利益</b>	<b>41</b>	<b>52</b>	<b>60</b>	<b>153</b>

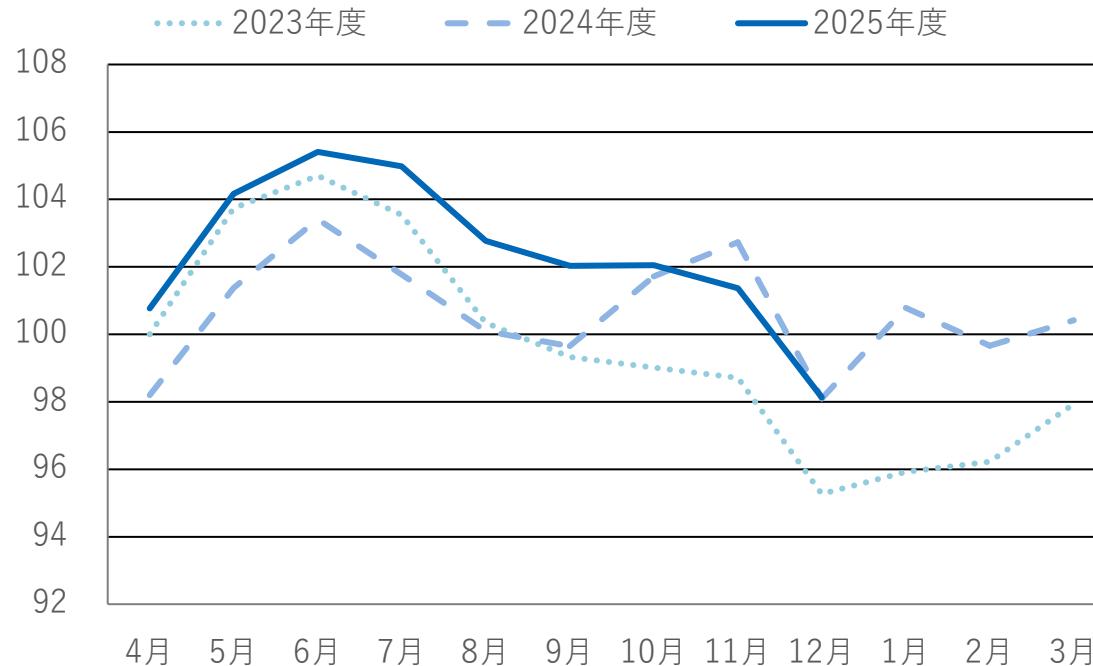
## 主な内容

- **集荷増による業績影響額・業務効率化 2億円**
  - ・「SULS」、「NL+LiNk」(※P34)の順調な拡大
  - ・年末商材に対する需要の着実な取り込み
- **海外 3億円**
  - ・ポーランドの新設拠点の稼働遅れ(2025年1月予定が同年5月)の影響は残るが、英国での事業は堅調に推移
  - ・CSRD対応への支出費用が減少

## 国内の状況(在庫水準)

### 当社の12大都市 在庫屯数推移

※2023年4月の在庫屯数を100とした場合の推移



## 海外事業の業績

(単位: 億円)

		2026年3月期						
		第3四半期		第3四半期累計		実績	前期比	
		実績	前期比	増減	率			
売上高	欧州	220	25	13%		614	57	10%
	東アジア	15	△0	△1%		41	△1	△3%
	東南アジア	9	3	49%		22	3	14%
	合計	245	28	13%		678	58	9%

## 欧州売上高

連結通貨 (億円)		2026年3月期						
		第3四半期		第3四半期累計		実績	前期比	
		実績	前期比	増減	率			
連続通貨 (億円)	保管	90	14	18%		249	28	13%
	通関・輸配送	130	11	10%		366	28	8%
	合計	220	25	13%		614	57	10%
現地通貨 (百万 ユーロ)	保管	52	6	13%		150	16	12%
	通関・輸配送	76	3	4%		221	16	8%
	合計	128	9	8%		371	32	9%

## 2 通期計画

## ● 第2四半期で修正した計画を据え置き

(単位: 億円)

計画	通期					営業 利益率	
	前期比		前回計画比				
	増減	率	前回計画	増減			
食品	4,120	△219	△5%	4,120	—		
加工食品	3,330	214	7%	3,330	—		
水産	400	△187	△32%	400	—		
畜産	458	△216	△32%	458	—		
消去額	△68	△30	—	△68	—		
低温物流	3,000	217	8%	3,000	—		
不動産	48	△4	△7%	48	—		
その他	55	△10	△15%	55	—		
調整額	△223	△5	—	△223	—		
売上高合計	7,000	△21	△0%	7,000	—		
(海外売上高合計)	1,723	65	4%	1,723	—		
食品	195	△18	△8%	195	—	4.7%	
加工食品	180	△8	△4%	180	—	5.4%	
水産	10	△4	△29%	10	—	2.5%	
畜産	5	△6	△54%	5	—	1.1%	
消去額	0	0	—	0	—	—	
低温物流	198	40	26%	198	—	6.6%	
不動産	18	△1	△5%	18	—	37.5%	
その他	3	△8	△72%	3	—	5.5%	
調整額	△19	△2	—	△19	—	—	
営業利益合計	395	12	3%	395	—	5.6%	
経常利益	403	4	1%	403	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	280	33	13%	280	—		
EPS (円)	111.7	14.4	14.8%	111.7	—		

### 【売上高】

主力の加工食品事業と低温物流事業は増収を見込むが、水産・畜産事業での構造改革の完遂により全体では**前期並み**を想定

### 【営業利益】

食品事業は減益となるも、低温物流事業の伸長により**12億円増益の395億円**を見込む

為替レート	26/3		25/3実績
	想定	前回想定 からの増減	
米ドル/円	150.00	—	151.57
ユーロ/円	160.00	—	163.94
バーツ/円	4.40	—	4.30

(注)25/3実績は1月～12月までの期中平均で算出

減価償却方法の変更等に伴う影響額	26/3計画
食品事業	16
低温物流事業	24
その他	1
合計	41

収益性の改善及び生活者による節約志向への対応

- 販促費コントロールの徹底による利益率改善と、  
節約志向に寄り添った「価格対応型商品」投入による数量維持の両立を図る

## 価格対応型商品

✓ 2026年2~4月新発売

### 【家庭用】



おうち炒め炒飯



焼おにぎり8個入り



半チャーハン

### 【業務用】



カリッとチキン



ポップチキン



(特) 筍たっぷりパリッと春巻



肉厚ジューシーハンバーグステーキ  
(デミグラスソース)



RUカレーOriginal (中辛)



### 3 その他

- 北米事業の飛躍的な成長に向け、新たに子会社を設立し、アーカンソー州に工場新設を決定

会社概要	
名称	ニチレイグローバルフーズ社
本店所在地	米国 デラウェア州
事業内容	冷凍食品の開発・生産
資本金	106百万USD（予定）※
設立年月	2026年2月（予定）

工場概要	
工場所在地	米国 アーカンソー州 ジョーンズボロ市
工場面積	約175,000平方フィート
投資額	100百万USD～
従業員数	約180名

※イノバジアン・クイジーン社は、2026年9月までの期間において  
総額106百万USDの出資を段階的に行なうことを予定しており、  
当該出資がすべて実行された時点における資本金の額を記載しております。

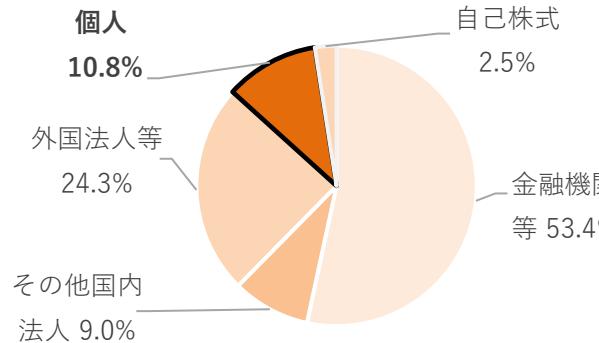


- グローバル経営基盤を強化するとともに、経営情報の適時・適切な開示による更なる経営の透明性の向上を目的に決算期を3月末から12月末に変更
- 2026年6月下旬に開催予定の定時株主総会での承認を条件として、決算期を変更
- 決算期が3月末の会社（当社および国内の連結子会社）は12月末に変更
- 経過期間となる2026年12月期は、2026年4月1日から12月31日までの9ヶ月決算となる予定

会計期間		2024年度				2025年度				2026年度				2027年度											
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q																			
カレンダー		2025年												2026年											
2025 年度	国内	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	海外	1Q	2Q	3Q	4Q																				
2026 年度	国内														1Q				2Q		3Q				
	海外														1Q				2Q		3Q				
2027 年度	国内																		1Q		2Q		3Q		4Q
	海外																		1Q		2Q		3Q		4Q

- 目指すべき株主構成の実現に向けて、①株式分割 ②株式の売出し ③株主優待制度の導入を実施

## 株主構成（2025年3月末時点）



### 【①株式分割】

- ・2025年4月1日を効力発生日として、株式分割（普通株式1株を2株に分割）を実施

### 【②株式の売出し】

#### 概要

- ・実施日：2026年1月19日
- ・売出株式の種類及び数：  
当社普通株式19,235,300株  
(発行済み株式数の約7.5%)
- ・売出価格：1,791円
- ・売出価格の総額：約345億円

### 【③株主優待制度の導入】

#### 株主優待の内容

- ・対象となる株主様の保有株式数及び継続保有期間に応じて、当社グループ商品の詰め合わせを進呈いたします。

保有株式数	継続保有期間	優待内容
500株以上	3年未満	2,500円相当
	3年以上	3,500円相当

\* 「継続保有期間：3年以上」とは、毎年3月末日及び9月末日における当社株主名簿に、基準日（毎年3月末日）から遡って、当社普通株式500株（5単元）以上を同一株主番号で連続して7回以上記載または記録されていることを指します。

\* 優待内容は変更する場合があります。

#### 株主優待制度の開始時期

- ・2026年3月末日を基準日とする株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社普通株式を500株(5単元)以上保有されている株主様から進呈を開始いたします。

## 4 Appendix

# 加工食品事業 | 売上高・営業利益・営業利益の増減要因

おいしい瞬間を届けたい



- 売上高は、業務用調理品が牽引し、7%増収を見込む
- 営業利益は、下期に増益に転じるもの、前期比8億円減益の180億円を見込む

(単位: 億円)

加工食品		通期				
		計画	前期比		前回計画比	
			増減	率	前回計画	増減
加工食品	売上高合計	3,330	214	7%	3,330	—
	国内	2,601	170	7%	2,601	—
	家庭用調理品	985	50	5%	985	—
	業務用調理品	1,215	115	10%	1,215	—
	農産加工品	230	△14	△6%	230	—
	その他	171	19	13%	171	—
	海外	1,057	16	2%	1,057	—
	調整額	△328	28	—	△328	—
	営業利益合計	180	△8	△4%	180	—
	国内	125	0	0%	125	—
加工食品	海外	53	△12	△19%	53	—
	調整額	2	4	—	2	—
						—

增收効果の内訳	通期計画		
	增收率	単価	数量
家庭用調理品	5%	3%	2%
業務用調理品	10%	2%	8%

	26/3					
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第3四半期 累計	通期 計画	通期前回 計画比
前期 営業利益	58	52	50	161	188	—
増益要因	12	19	26	57	109	—
增收効果 (※1)	2	3	3	8	16	—
価格改定効果	7	14	19	40	60	—
生産性改善	1	0	1	2	9	—
償却方法の変更	3	3	4	10	15	—
その他 (※2) (※3)	△1	△1	△1	△3	9	—
減益要因	△27	△33	△28	△88	△117	—
為替影響による原材料 ・仕入コストの増減	△11	△9	△6	△26	△29	—
原材料・仕入コストの増減 (為替影響除く)	△12	△16	△18	△46	△61	—
物流コストの増減	△1	△1	0	△2	△4	—
動力燃料コストの増減	△1	0	0	△1	△2	—
海外関係会社の業績影響額 (※2)	△1	△6	△2	△9	△12	—
減価償却費の増減	△1	△1	△2	△4	△9	—
当期 営業利益	43	39	48	131	180	—

(※1) 収益性重視の施策の実行による利益効果も含む

(※2) 表示区分の変更：「海外関係会社の業績影響額」に含めていた「棚卸未実現利益の調整」を「その他」に反映。それに伴い第1四半期の数値を遡及修正

(※3) 棚卸未実現利益の調整を含む

# 低温物流事業 | 売上高・営業利益・営業利益の増減要因

おいしい瞬間を届けたい



- グループ業績をけん引し、売上高は8%増収、営業利益は40億円（26%）増益の198億円を見込む

(単位: 億円)

低温物流	計画	通期					営業 利益率	
		前期比		前回計画比		増減		
		増減	率	前回計画				
売上高合計	3,000	217	8%	3,000	—		6.6%	
国内事業	2,011	108	6%	2,011	—		8.7%	
保管	710	34	5%	710	—			
輸配送	368	17	5%	368	—			
リテール	655	43	7%	655	—			
3PL	278	14	6%	278	—			
海外事業	907	75	9%	907	—			
その他・共通	82	34	71%	82	—			
営業利益合計	198	40	26%	198	—			
国内事業	175	31	22%	175	—		4.5%	
海外事業	41	7	22%	41	—			
その他・共通	△18	2	—	△18	—			

(単位: 億円)

	26/3					
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第3四半期 累計	通期 計画	通期前回 計画比
前期 営業利益	34	41	49	124	157	—
増益要因	10	12	12	34	51	—
集荷増による業績影響額	1	2	1	4	5	—
業務効率化	0	1	1	2	4	—
適正料金収受などの施策効果	3	3	2	8	10	—
海外	△0	△1	3	2	7	—
償却方法等の変更	6	5	6	17	24	—
その他	0	2	△1	1	1	—
減益要因	△3	△1	△1	△5	△10	—
エネルギーコストの増減	△1	0	1	0	△1	—
外部委託コスト増 (庸車・倉庫内作業含む)	△2	△1	△2	△5	△9	—
当期 営業利益	41	52	60	153	198	—

- 水産、畜産とともに、次年度の食品事業統合に向けて事業構造改革を完遂し、通期計画の達成を見込む

(単位: 億円)

		通期					
		計画	前期比		前回計画比		営業 利益率
			増減	率	前回計画	増減	
水産	売上高	400	△187	△32%	400	—	
	営業利益	10	△4	△29%	10	—	2.5%
畜産	売上高	458	△216	△32%	458	—	
	営業利益	5	△6	△54%	5	—	1.1%

# エリア・セグメント別売上高・営業利益

おいしい瞬間を届けたい



2026年3月期 第3四半期

※ () 内は前年同期間比、ptはポイント (単位: 億円)

	売上高										営業利益						
	日本	海外合計						地域間 消去等	合計	日本	海外	地域間 消去等	合計	営業利益率			
		北米	欧州	東南 アジア	東 アジア	その他	日本							日本	海外	合計	
食品	2,666	838	319	—	433	62	24	△ 291	3,213	103	45	1	149	3.9%	5.3%	4.6%	
	(△135)	(29)	(30)	—	(3)	(△6)	(2)	(△10)	(△116)	(△27)	(△10)	(4)	(△33)	(△0.8pt)	(△1.4pt)	(△0.8pt)	
加工食品	1,964	806	319	—	427	35	24	△ 257	2,513	87	43	1	131	4.4%	5.3%	5.2%	
	(112)	(32)	(36)	—	(3)	(△9)	(2)	(6)	(149)	(△25)	(△9)	(4)	(△30)	(△1.6pt)	(△1.4pt)	(△1.6pt)	
水産	361	32	—	—	5	27	—	△ 9	384	11	2	0	13	3.1%	4.9%	3.4%	
	(△86)	(△4)	(△6)	—	(0)	(3)	—	(9)	(△80)	(3)	(△1)	(0)	(2)	(1.2pt)	(△1.8pt)	(1.0pt)	
畜産	385	—	—	—	—	—	—	—	385	6	—	—	6	1.4%	—	1.4%	
	(△143)	—	—	—	—	—	—	—	(△143)	(△4)	—	—	(△4)	(△0.3pt)	—	(△0.3pt)	
消去額	△ 44	—	—	—	—	—	—	△ 25	△ 69	△ 1	—	0	△ 1	—	—	—	
	(△18)	—	—	—	—	—	—	(△24)	(△42)	(△0)	—	(0)	(△0)	—	—	—	
低温物流	1,519	678	—	614	22	41	—	56	2,253	146	25	△ 18	153	9.6%	3.6%	6.8%	
	(67)	(58)	—	(57)	(3)	(△1)	—	(32)	(158)	(28)	(2)	(△1)	(28)	(1.5pt)	(△0.1pt)	(0.8pt)	
不動産・ その他	75	3	3	—	—	—	—	△ 2	77	21	△ 2	△ 1	18	27.3%	—	23.0%	
	(△8)	(△6)	(△6)	—	—	—	—	(1)	(△12)	(△5)	(△2)	(△1)	(△7)	(△3.1pt)	—	(△5.0pt)	
調整額	△ 164	△ 1	—	—	△ 1	△ 0	—	—	△ 166	△ 14	—	0	△ 14	—	—	—	
	(△0)	(△0)	—	—	(△0)	(△0)	—	—	(△1)	(△1)	—	(0)	(△1)	—	—	—	
合計	4,096	1,517	322	614	453	103	24	△ 237	5,377	256	67	△ 18	305	6.2%	4.4%	5.7%	
	(△76)	(81)	(24)	(57)	(5)	(△7)	(2)	(24)	(28)	(△4)	(△10)	(2)	(△12)	(0.0pt)	(△1.0pt)	(△0.3pt)	

# 貸借対照表の増減要因

おいしい瞬間を届けたい



(単位: 億円)

	2025年3月期 期末	2026年3月期 第3四半期	増減	
<b>資産の部</b>				
流動資産	2,049	2,420	371	①
固定資産	2,943	3,122	179	②
資産合計	4,992	5,542	550	
<b>負債・純資産の部</b>				
流動負債	1,291	1,616	325	③
固定負債	942	1,000	58	
負債合計	2,233	2,616	383	
純資産合計 (うち自己資本)	2,760 2,600	2,927 2,750	167 149	④
有利子負債 (うちリース債務除く)	1,063 927	1,271 1,134	209 207	

	2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	増減	
設備投資額 (うちリース資産除く)	218 201	243 214	25 13	⑤
減価償却費 (うちリース資産除く)	179 154	163 137	△16 △17	

## 【主な増減要因】

- ①売掛金 + 187億円
- ②機械装置及び運搬具 + 41億円
- ③短期借入金 + 109億円
- ④コマーシャルペーパー + 70億円
- ④親会社株主に帰属する当期純利益 + 219億円
- ④配当金 ▲122億円

## 【2025年度の設備投資の主な実績】

- ⑤レクサム冷蔵倉庫増設 (イギリス) 13億円
- ラドムスコ冷蔵倉庫増設 (ポーランド) 18億円
- ナワナコン物流センター建設工事 (タイ) 10億円

# 2026年3月期 年間業績・計画一覧

おいしい瞬間を届けたい



(単位: 億円)

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第3四半期累計			通期		
	実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		計画	前期比	
		増減	率		増減	率		増減	率		増減	率		増減	率
食品	1,038	△44	△4%	1,029	△44	△4%	1,145	△28	△2%	3,213	△116	△3%	4,120	△219	△5%
加工食品	826	47	6%	822	48	6%	865	54	7%	2,513	149	6%	3,330	214	7%
国内	635	36	6%	648	38	6%	681	37	6%	1,964	112	6%	2,601	170	7%
家庭用調理品	236	9	4%	241	12	5%	253	7	3%	730	29	4%	985	50	5%
業務用調理品	296	26	9%	295	30	11%	331	32	11%	923	87	10%	1,215	115	10%
農産加工品	54	△10	△15%	57	△8	△12%	58	△5	△8%	169	△22	△12%	230	△14	△6%
その他	49	11	28%	55	4	9%	38	3	9%	142	18	15%	171	19	13%
海外	278	15	6%	259	3	1%	268	13	5%	806	32	4%	1,057	16	2%
調整額	△88	△4	—	△85	7	—	△84	3	—	△257	6	—	△328	28	—
水産	105	△22	△17%	107	△32	△23%	172	△26	△13%	384	△80	△17%	400	△187	△32%
畜産	129	△57	△31%	122	△48	△28%	135	△38	△22%	385	△143	△27%	458	△216	△32%
消去額	△21	△11	—	△22	△12	—	△26	△18	—	△69	△42	—	△68	△30	—
低温物流	699	40	6%	773	58	8%	781	59	8%	2,253	158	8%	3,000	217	8%
国内事業	488	21	5%	510	25	5%	521	21	4%	1,519	67	5%	2,011	108	6%
保管	172	6	4%	181	8	4%	186	6	4%	539	20	4%	710	34	5%
輸配送	90	4	4%	95	1	2%	93	2	2%	278	7	3%	368	17	5%
リテール	158	8	5%	164	12	8%	170	10	6%	493	30	7%	655	43	7%
3PL	67	4	6%	70	3	5%	73	3	4%	210	10	5%	278	14	6%
海外事業	206	20	11%	227	10	5%	245	28	13%	678	58	9%	907	75	9%
その他・共通	5	△1	△18%	36	23	180%	15	10	204%	56	32	135%	82	34	71%
不動産	13	1	7%	12	△0	△2%	13	△2	△12%	37	△1	△3%	48	△4	△7%
その他	13	1	6%	10	△5	△35%	17	△7	△28%	40	△11	△22%	55	△10	△15%
調整額	△54	△2	—	△55	0	—	△56	1	—	△166	△1	—	△223	△5	—
売上高合計	1,708	△4	△0%	1,769	9	1%	1,900	23	1%	5,377	28	1%	7,000	△21	△0%
(海外売上高合計)	413	19	5%	420	6	1%	448	24	6%	1,281	49	4%	1,723	65	4%
食品	48	△14	△23%	42	△13	△23%	59	△5	△8%	149	△33	△18%	195	△18	△8%
加工食品	43	△15	△26%	39	△13	△25%	48	△2	△4%	131	△30	△19%	180	△8	△4%
水産	3	2	791%	2	2	1,602%	8	△3	△27%	13	2	15%	10	△4	△29%
畜産	2	△1	△40%	1	△2	△74%	3	△0	△12%	6	△4	△41%	5	△6	△54%
消去額	△0	△0	—	0	0	—	△0	△0	—	△1	△0	—	0	0	—
低温物流	41	7	20%	52	11	26%	60	11	22%	153	28	23%	198	40	26%
不動産	5	1	25%	4	△1	△11%	5	△0	△5%	14	0	2%	18	△1	△5%
その他	1	△0	△17%	△0	△3	△115%	3	△4	△60%	3	△8	△69%	3	△8	△72%
調整額	△7	△2	—	△2	1	—	△4	1	—	△14	△1	—	△19	△2	—
営業利益合計	87	△9	△9%	96	△5	△5%	122	2	1%	305	△12	△4%	395	12	3%
経常利益	92	△11	△11%	95	△8	△7%	126	1	1%	314	△17	△5%	403	4	1%
親会社株主に帰属する四半期純利益ないし当期純利益	56	△8	△12%	85	21	32%	77	0	0%	219	13	6%	280	33	13%

# ROICの推移

おいしい瞬間を届けたい



	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3E
グループ全体 ROIC (%) 目標:8%以上	<b>8.0</b>	<b>8.1</b>	<b>7.8</b>	<b>7.6</b>	<b>7.5</b>	<b>7.8</b>	<b>6.9</b>	<b>7.5</b>	<b>7.4</b>	<b>7.6</b>
NOPAT率 (%)	3.7	3.7	3.7	3.6	3.9	4.1	3.5	3.9	3.9	4.2
使用資本回転率 (回)	2.2	2.2	2.1	2.1	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9	1.8
WACC (%)							4.0	4.0	4.0	4.5
加工食品										
簡易ROIC (%)	<b>15.3</b>	<b>14.4</b>	<b>13.3</b>	<b>15.1</b>	<b>13.9</b>	<b>10.3</b>	<b>8.5</b>	<b>10.8</b>	<b>11.0</b>	<b>9.2</b>
税引後営業利益率 (%)	4.7	4.6	4.5	4.9	5.3	4.0	3.5	4.1	4.2	3.7
主要使用資本回転率 (回)	3.3	3.2	3.0	3.1	2.6	2.6	2.4	2.6	2.7	2.5
低温物流										
簡易ROIC (%)	<b>6.9</b>	<b>7.0</b>	<b>7.1</b>	<b>7.2</b>	<b>7.8</b>	<b>7.7</b>	<b>7.7</b>	<b>7.2</b>	<b>6.5</b>	<b>7.7</b>
税引後営業利益率 (%)	3.9	4.0	3.9	4.0	4.3	4.5	4.3	4.2	3.9	4.6
主要使用資本回転率 (回)	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7
水産										
簡易ROIC (%)	<b>2.7</b>	<b>1.0</b>	<b>0.6</b>	<b>1.5</b>	<b>2.0</b>	<b>3.3</b>	<b>3.5</b>	<b>2.9</b>	<b>8.0</b>	<b>8.2</b>
税引後営業利益率 (%)	0.8	0.3	0.2	0.5	0.6	1.0	1.0	0.7	1.7	1.8
主要使用資本回転率 (回)	3.4	3.4	3.5	3.3	3.4	3.4	3.7	4.4	4.8	4.6
畜産										
簡易ROIC (%)	<b>29.4</b>	<b>16.3</b>	<b>16.8</b>	<b>13.6</b>	<b>21.5</b>	<b>20.2</b>	<b>13.8</b>	<b>12.4</b>	<b>21.9</b>	<b>8.3</b>
税引後営業利益率 (%)	1.3	1.0	1.1	0.7	1.1	1.0	0.8	0.9	1.1	0.8
主要使用資本回転率 (回)	23.3	16.4	15.1	19.1	20.0	20.1	17.9	14.1	19.8	11.0
バイオサイエンス										
簡易ROIC (%)	<b>9.5</b>	<b>9.4</b>	<b>2.4</b>	△2.2	△3.2	△3.0	<b>8.9</b>	<b>12.5</b>	<b>10.7</b>	<b>3.3</b>
税引後営業利益率 (%)	11.1	11.4	4.5	△4.5	△6.6	△6.1	12.0	15.2	12.2	4.3
主要使用資本回転率 (回)	0.9	0.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.7	0.8	0.9	0.8

注：簡易ROIC=税引後営業利益÷主要使用資本（営業資金+有形無形固定資産）

# 各中計期間の業績の推移

おいしい瞬間を届けたい



(単位:億円)

	RISING 2015 (13-15年度)			POWER UP 2018 (16-18年度)			WeWill 2021 (19-21年度)			Compass Rose 2024 (22-24年度)			Compass × Growth 2027 (25-27年度)			
	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3E	27/3P	28/3P	
食品													4,339	4,120	4,181	4,450
加工食品	1,807	1,939	1,992	2,050	2,207	2,266	2,348	2,255	2,442	2,757	2,909	3,116	3,330	3,430	3,650	
水産	686	687	688	694	715	712	658	631	677	690	616	587	400	350	380	
畜産	801	895	920	881	904	911	883	841	803	858	818	674	458	434	453	
消去額													△38	△68	△33	△33
低温物流	1,684	1,783	1,849	1,869	1,951	2,010	2,065	2,123	2,245	2,442	2,574	2,783	3,000	2,994	3,120	
不動産	50	47	46	46	49	48	50	46	43	45	45	52	48	49	50	
その他	37	44	52	45	53	58	57	49	42	61	68	65	55	478	583	
調整額	△191	△196	△194	△189	△199	△204	△212	△218	△226	△231	△228	△218	△223	△201	△202	
売上高合計	4,874	5,200	5,354	5,397	5,680	5,801	5,849	5,728	6,027	6,622	6,801	7,021	7,000	7,500	8,000	
食品													213	195	255	287
加工食品	34	54	80	139	146	146	167	172	142	140	174	188	180	239	263	
水産	4	2	7	8	3	2	4	5	10	10	6	14	10	9	13	
畜産	1	4	4	16	13	15	9	13	12	10	10	11	5	7	12	
消去額												△0	0	0	0	
低温物流	89	87	100	106	113	114	118	131	146	151	158	157	198	211	226	
不動産	24	21	22	21	22	21	20	20	17	18	17	19	18	19	20	
その他	4	6	9	6	8	3	△3	△3	△3	8	13	11	3	34	46	
調整額	1	0	△5	△3	△5	△6	△6	△8	△9	△7	△9	△17	△19	△20	△19	
営業利益合計	158	174	216	293	299	295	310	329	314	329	369	383	395	500	560	
経常利益	144	169	214	291	307	299	318	335	317	334	383	399	403	512	571	
親会社株主に帰属する当期純利益	89	95	135	188	191	199	196	212	234	216	245	247	280	340	380	
総資産	3,185	3,420	3,385	3,462	3,673	3,773	3,900	4,057	4,276	4,573	4,852	4,992				
設備投資等(リース資産を含む)	240	242	162	139	250	241	273	378	279	304	313	345	289	396	410	
ROIC (%)	4.2	4.3	5.9	8.0	8.1	7.8	7.6	7.5	7.8	6.9	7.5	7.4	7.6	8%以上		
自己資本比率 (%)	41.9	43.0	44.4	46.0	44.3	46.9	47.3	50.1	49.4	49.1	52.2	52.1				
営業利益率 (%)	3.1	3.3	4.0	5.4	5.3	5.1	5.3	5.8	5.2	5.0	5.4	5.5	5.6	6.7	7.0	
ROE(自己資本利益率) (%)	6.9	6.8	9.1	12.1	11.9	11.7	10.9	10.9	11.3	9.9	10.3	9.6		10%以上		
1株当たり純利益(EPS)	31.1	33.3	47.2	67.6	71.1	74.8	73.6	79.6	88.4	83.6	95.9	97.3	111.7	135.7	151.7	
1株当たり配当金(DPS)	10	10	12	14	15	16	21	25	25	26	37	46	47	下限47		
期末日現在株価(円)	436	674	916	1,377	1,470	1,364	1,528	1,425	1,185	1,342	2,057	1,778				

注: ①設備投資等には無形固定資産を含む、②25/4/1付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したことから、比較のためEPS、DPS、期末日現在株価は株式分割後に換算した金額で表示(ただし16/3以前は株式合併前のため実額を表示)、③26/3からの食品事業セグメントの開示変更に当たり、25/3は遡及修正後の数値を記載している

## SCI 家庭用調理冷凍食品 100人当たり購入金額の前年同四半期比

市場	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	25/3期 累計	26/3期 1Q	26/3期 2Q	26/3期 3Q
全体	103%	105%	105%	105%	105%	106%	103%	104%
畜肉フライ	96%	96%	99%	101%	98%	104%	104%	101%
ピラフご飯類	101%	107%	104%	106%	105%	116%	109%	108%
おにぎり	107%	113%	107%	110%	110%	105%	102%	104%
スナック類	108%	111%	114%	112%	111%	109%	98%	100%
ハンバーグ	91%	98%	102%	100%	98%	99%	96%	97%

出典：インテージSCI（冷凍調理 100人当たり購入金額の前年四半期比の推移（70代まで））。購入ルート＝生協店舗・店舗以外を含む。（宅配等含む）

## 当社の価格改定の【実施時期】と【改定効果の発現時期】

実施時期	改定対象	改定率 (当初計画)	2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期			
			1Q	2Q	3Q	4Q												
2023年7月	業務用	約8～27%																
2024年3月	家庭用	約1%～6%																
2024年4月	業務用	約1%～6%																
2024年9月	農産加工品、家庭用	約3%～7%																
2024年10月	農産加工品、業務用	約5%～7%																
2025年2月	家庭用	約10%～30%																
	業務用	約5%～30%																
2025年7月	業務用	約3%～8%																
2025年8月	家庭用	約8%～13%																
2025年9月	家庭用	約10%																
2025年10月	業務用	約10%																
2026年2月	家庭用	約8～20%																
	業務用	約5～25%																
改定効果（億円）			50	39	30	10	5	5	7	9	7	14	19	20				
			合計129億円				合計26億円				合計60億円							

## 海外売上高実績と計画

(単位: 億円)

		2026年3月期														
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第3四半期累計			通期		
		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		計画	前期比	
売上高	北米		増減	率		増減	率		増減	率		増減	率		増減	率
	105	8	8%	96	5	5%	112	22	24%	314	34	12%	418	43	12%	
	70	6	9%	64	6	11%	57	△8	△12%	191	4	2%	252	2	1%	
	15	△2	△13%	14	△3	△17%	14	2	15%	43	△3	△7%	59	△3	△6%	
	合計	190	11	6%	174	8	5%	184	15	9%	548	35	7%	729	42	6%

※北米にはイノバジアン・ケイジーン社 & ニチレイサクラメントフーズ社 (イノバジアン社 & NISA) の他、北米で展開する全ての食品事業の数字を含める

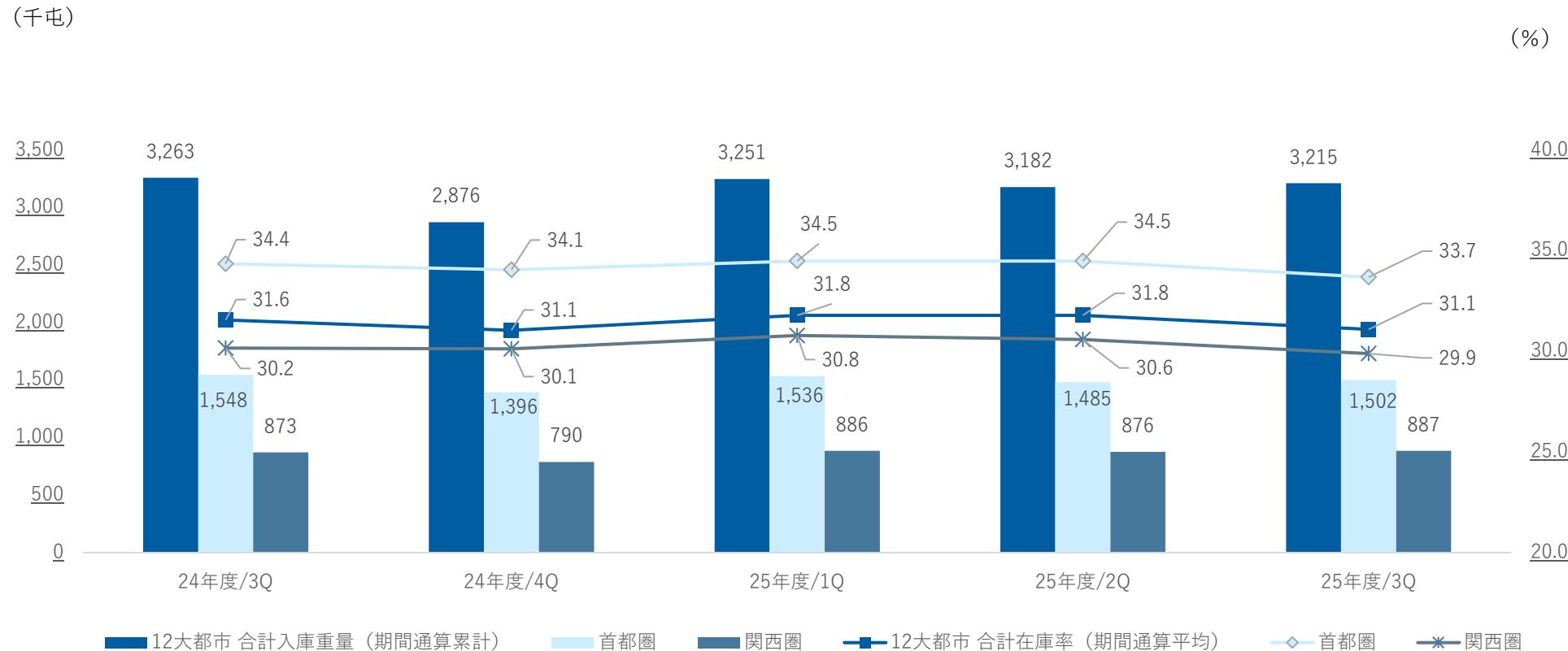
※本表の数字は地域間消去後の数字となり「エリア・セグメント別売上高・営業利益」で開示する数字と異なる

## 【イノバジアン社+NISA】 売上高・営業利益

		2026年3月期														
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第3四半期累計			通期		
		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		計画	前期比	
売上高	連絡通貨 (億円)		増減	率		増減	率		増減	率		増減	率		増減	率
	104	7	7%	87	△5	△5%	94	3	4%	284	5	2%	374	2	0%	
営業利益	現地通貨 (百万USD)	68	3	4%	60	2	3%	63	3	5%	191	7	4%	250	4	1%
	連絡通貨 (億円)	4	△2	△30%	1	△1	△50%	5	2	62%	10	△1	△10%	15	1	6%
	現地通貨 (百万USD)	2.5	△1.2	△32%	1.0	△0.7	△41%	3.3	1.3	63%	6.7	△0.6	△8%	10.1	0.7	7%
営業利益率 (連絡通貨)		3.7%			1.5%			5.1%			3.5%			4.1%		
為替レート (米ドル/円)											148.23			150.00		

※本表の数字は地域間消去後の数字となり「エリア・セグメント別売上高／国内外別営業利益」で開示する数字と異なる

## 業界の冷蔵倉庫稼働状況



出典：一般社団法人 日本冷蔵倉庫協会「主要12都市受寄物庫腹利用状況一覧表」を当社で加工

## 海外売上高

(単位: 億円)

		2026年3月期														
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第3四半期累計			通期		
		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		計画	前期比	
売上高	欧州		187	19	11%	207	12	6%	220	25	13%	614	57	10%	807	58
	東アジア	12	0	1%	14	△1	△8%	15	△0	△1%	41	△1	△3%	63	6	10%
	東南アジア	7	0	5%	6	△1	△11%	9	3	49%	22	3	14%	37	11	41%
	合計	206	19	10%	227	10	5%	245	28	13%	678	58	9%	907	75	9%

## 欧州売上高

		2026年3月期														
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第3四半期累計			通期		
		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		実績	前期比		計画	前期比	
連結通貨 (億円)	保管	77	9	13%	82	6	7%	90	14	18%	249	28	13%	349	52	18%
	通関・輸配送	110	10	10%	126	7	6%	130	11	10%	366	28	8%	458	6	1%
	合計	187	19	11%	207	12	6%	220	25	13%	614	57	10%	807	58	8%
現地通貨 (百万ユーロ)	保管	48	5	13%	50	5	10%	52	6	13%	150	16	12%	218	37	20%
	通関・輸配送	69	7	11%	77	6	8%	76	3	4%	221	16	8%	286	11	4%
	合計	117	12	12%	127	10	9%	128	9	8%	371	32	9%	504	48	10%

- 前期の数値を同一期間に組み替えた数値（参考値）を用いた前期比較も次年度以降開示予定

2026年度

会計期間		2024年度				2025年度				2026年度					
		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
カレンダー		2025年													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2026 年度	国内		1Q			2Q		3Q		4Q	1Q	2Q	3Q		
	海外	1Q				2Q				1Q		2Q		3Q	

↑参考値

2027年度

会計期間		2025年度				2026年度				2027年度					
		4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
カレンダー		2026年													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2027 年度	国内		1Q			2Q		3Q		4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
	海外	1Q				2Q				1Q		2Q		3Q	

↑参考値



…当期



…組換後の前期情報（参考値）

## ● 価格対応型商品

規格や包装形態などの工夫や多様な顧客ニーズに対応した幅広い加工度を有し、「適正な収益性の確保」と「手に取りやすい価格帯」を両立した商品

### 既存定番商品

- ✓ 米飯類
- ✓ チキン加工品 など



本格炒め炒飯®



特から®



今川焼 (あずきあん)

### 市場提案型商品

#### 食スタイル対応型商品

- ✓ everyONe meal
- ✓ パーソナルユース など



生姜香る参鶏湯



三ツ星プレート®回鍋肉 & 麻婆麺



お店で炒めるベースチャーハン

#### 価格対応型商品

- ✓ 多様な価格帯・規格 など



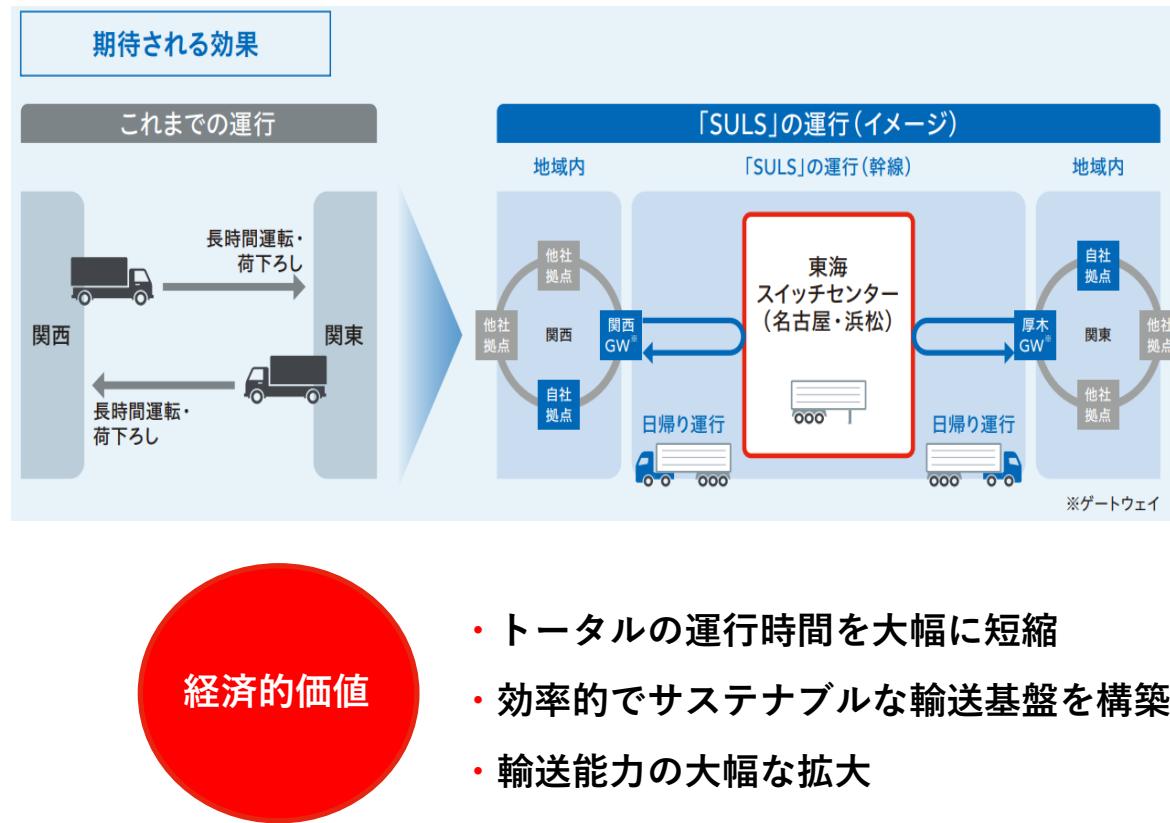
米飯類



農産加工品

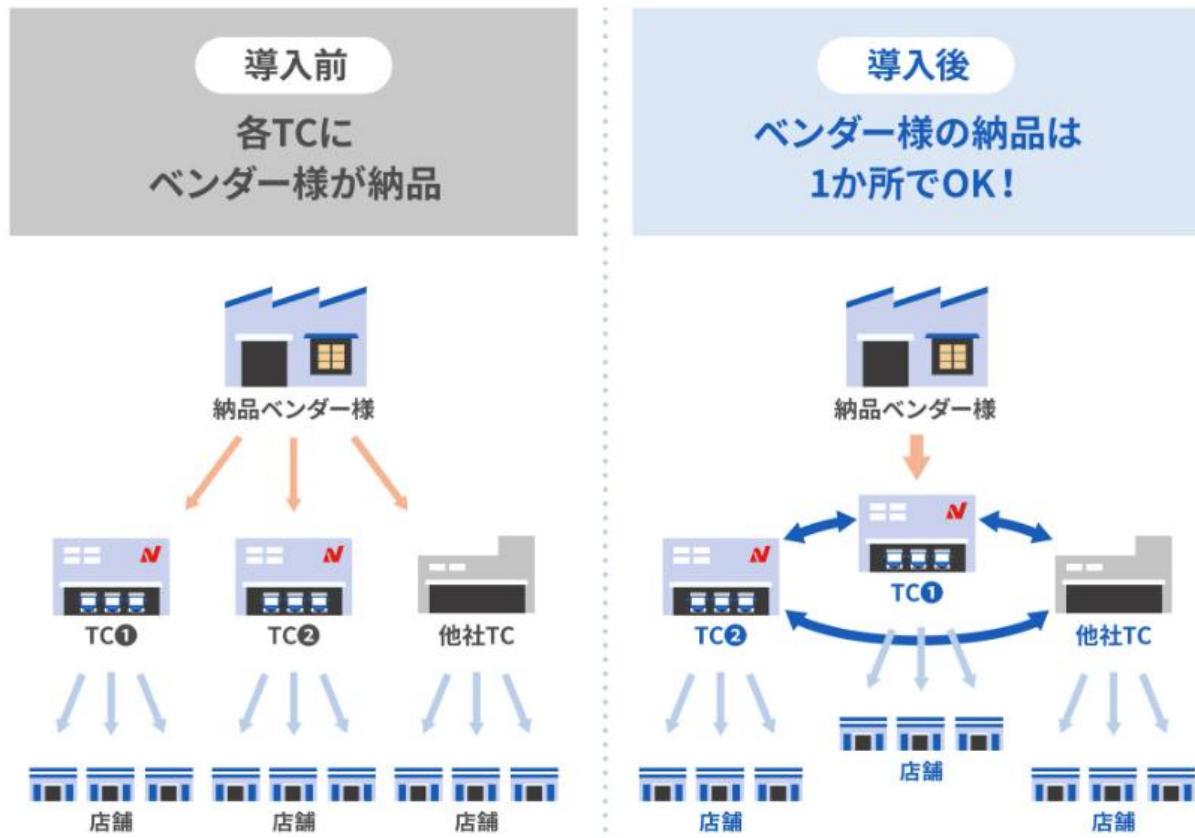
- 「SULS（サルス）」

荷台切り離し可能なトレーラーと拠点での荷役作業を活用し、運行時間の短縮と輸送効率の向上を図る当社グループの拠点間輸送方式。



## ● 「NL+LiNk (エヌエルリンク)」

ニチレイロジグループが提供する、リテール事業における納品ベンダー向けの輸配達効率化を目的としたネットワークサービス。



## ■特定子会社（孫会社）の異動に関するお知らせ

[https://www.nichirei.co.jp/ir/news/2025/t\\_in207.html](https://www.nichirei.co.jp/ir/news/2025/t_in207.html)

## ■WICI ジャパン「統合リポート・アワード2025」において「Bronze Award（準優良企業賞）」を受賞

<https://www.nichirei.co.jp/news/2025/496.html>

## ■CDPの「気候変動」分野で、最高評価の「Aリスト」企業に初選定

<https://www.nichirei.co.jp/news/2025/499.html>

## ■ニチレイフーズ 2026年春季新商品・リニューアル商品のご案内 全84品がラインアップ

[https://www.nichireifoods.co.jp/news/2026/info\\_id44219/](https://www.nichireifoods.co.jp/news/2026/info_id44219/)

## ■株式の売出しに関するお知らせ

[https://www.nichirei.co.jp/ir/news/2026/t\\_in209.html](https://www.nichirei.co.jp/ir/news/2026/t_in209.html)

## ■売買価格等の決定に関するお知らせ

[https://www.nichirei.co.jp/sites/default/files/inline-images/ir/pdf\\_file/news/20260119.pdf](https://www.nichirei.co.jp/sites/default/files/inline-images/ir/pdf_file/news/20260119.pdf)

## ■株主優待制度の導入に関するお知らせ

[https://www.nichirei.co.jp/ir/news/2026/t\\_in208.html](https://www.nichirei.co.jp/ir/news/2026/t_in208.html)



レンジで冷たい  
盛岡風冷麺



三ツ星プレート®  
油淋鶏 & 上海焼そば風

当資料に記されたニチレイの現在の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」その他これらの類義語を用いたものに限定されるものではありません。これらの情報は、現在において入手可能な情報から得られたニチレイの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただくようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にニチレイが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます：

- ①ニチレイグループの事業活動を取り巻く経済情勢および業界環境
  - ②米ドル・ユーロを中心とした為替レートの変動
  - ③商品開発から原料調達、生産、販売まで一貫した品質保証体制確立の実現性
  - ④新商品・新サービス開発の実現性
  - ⑤成長戦略とローコスト構造の実現性
  - ⑥ニチレイグループと他社とのアライアンス効果の実現性
  - ⑦偶発事象の結果
- など

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでニチレイをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。